

副産物情勢

7月11日 更新

J A全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																										
内 臓	1.国産牛	○ 5月の成牛と畜頭数は、84.7千頭と前年並み(前年比101.2%)。 内訳を見ると、和牛:38.3千頭(前年比102.7%)、交雑牛:20.5千頭(同104.3%)、乳牛去勢:11.1千頭(同92.4%)となった。 ○ 6月の成牛と畜頭数は、速報値(6月30日まで集計)で86.3千頭と前年並みとなった(前年比99.1%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月28日公表)によると、6月、7月の出荷頭数は、ともに全品種での増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 (6月90.8千頭(前年比103.7%)、7月97.1千頭(同102.7%)) そのため、3か月平均(5月～7月)でも、出荷頭数92.1千頭(前年比103.7%)、生産量29.4千トﾝ(同104.4%)と前年を上回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : と畜頭数が前年を超える水準のため供給量は安定しているが、外食や加工向け需要の回復等から焼き材を中心に堅調な荷動きをしている。 米国のと畜頭数減少や人手不足を背景に輸入原料の品不足が当面続く見込みのため、国産牛内臓原料の需給は引き締まっている。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
	令和3年4月 1日	35	7																										
令和3年4月 26日	25	5																											
令和3年10月 18日	35	7																											
令和4年2月7日	25	5																											
令和4年4月4日	35	7																											
令和4年8月8日	45	9																											
2.国産豚	○ 5月の全国豚と畜頭数は、1,366千頭と前年を上回った(前年比103.2%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道104.6%、東北105.9%、関東103.4%、北陸甲信越108.2%、東海100.0%、近畿97.1%、中四国106.2%、九州・沖縄101.4% ○ 6月の全国と畜頭数は、1,343千頭(速報値6月30日まで集計、前年比100.3%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同様で、1日当たりの平均と畜頭数は61,023頭(前年実績:60,864頭/日、前年差159頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;6月26日付け)によると、7月;1,294千頭(前年比103%)、8月;1,308千頭(同99%)、9月;1,329千頭(同98%)、10月;1,457千頭(同105%)、11月;1,476千頭(同99%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 : 昨年来からのと畜頭数減少の影響等から供給量は減少しているが、販売チャネルの増加や調理加工技術の向上等により豚内臓を新たに加工・販売する事業者が増え、豚内臓の需給がひっ迫している。ただし、原料の確保ができない状況や価格が高騰を続けると、需給は一変する可能性がある。	2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																											
令和3年3月 11日	35	4																											
令和3年4月19日	25	3																											
令和3年10月 15日	35	4																											
令和4年2月1日	25	4																											
令和4年3月28日	35	4																											
令和4年8月1日	45	5																											
3.輸入牛	○ 5月の輸入通関実績は、全体で46.4千トﾝと前年並み(前年比101.4%、前月比68.3%)、内訳ではチルド;16.1千トン(前年比78.5%、前月比76.3%)、フローズン;30.3千トﾝ(前年比120.0%、前月比64.7%)となった。輸入相手国別では、チルドは米国と豪州が減少した。 一方、フローズンは、米国からのショートプレートが依然好調なため伸長した。豪州やカナダも前年を上回ったが、その他の国からの輸入が減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、需要の低迷や米国産の現地価格の高騰等により減少し、6月、7月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンは、国内の輸入品在庫量が多い事や円安の影響等により、6月、7月ともに前年を下回ると見込んでいる。3か月平均では、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年6月 合計;44.4千トﾝ(前年比77.0%)、チルド;17.3千トﾝ(同75.8%)、フローズン;27.1千トﾝ(同77.8%) 令和5年7月 合計;45.8千トﾝ(前年比88.1%)、チルド;18.1千トﾝ(同92.8%)、フローズン;27.7千トﾝ(同85.4%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年5月):牛腸(冷凍) 1,063.5トﾝ(前年比99.9%・前月比70.1%) 国別実績;米国711.5トﾝ、メキシコ171.3トﾝ、カナダ114.2トﾝ、豪州64.3トﾝ、パナマ2.2トﾝ 牛レバー(冷凍); 83.5トﾝ(前年比883.6%・前月比76.2%) 国別実績;米国45.5トﾝ、豪州33.0トﾝ、メキシコ5.0トﾝ	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>平成31年1月5日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000	30	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																											
平成31年1月5日	1,000	30																											
令和元年7月22日	700	10																											
令和2年3月16日	500	10																											
令和2年6月15日	100	10																											
令和2年7月20日	100	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年5月24日	10	10																											
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 5 月) : 52,940枚(前年比135.7%、前月比103.3%) 国別実績;タイ38,840枚(前年比193.0%)、韓国6,670枚(同54.8%)、ベトナム4,390枚(同71.6%)、カンボジア1,840枚(同なし)、フィリピン1,200枚(同なし) 輸出平均価格(令和5年5月):2,181円/枚(前年差△1,110円、前月差△161円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 5 月) : ウェットブルー27,558枚※(前年比130.7%、前月比154.6%)、牛大判皮16,167枚(同40.4%、同151.4%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年5月):ウェットブルー7,963円/枚(前年差+1,287円、前月差+109円)、牛大判皮7,335円/枚(同△1,495円、同+183円) ○ 海 外 情 勢 : 米国の牛と畜頭数減少により日本産原皮が流通しやすい環境と推定されるが、経済悪化等により皮革製品需要が減少しているため厳しい展開が続いている。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の伸び悩みや人手不足等により一部タンナーの稼働率が低下している。キズ・穴あき等の品質低級原皮はタンナーからの引き合いがほぼ無い状況である。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月16日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000	30	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																										
令和元年7月16日	1,000	30																											
令和元年8月15日	1,000	10																											
令和2年3月16日	800	10																											
令和2年6月22日	300	10																											
令和2年7月27日	300	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年6月1日	10	10																											
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 5 月) : 995,046枚(前年比93.7%、前月比98.1%) 国別実績;タイ809,746枚(前年比100.1%)、カンボジア107,400枚(同61.0%)、ベトナム56,700枚(同124.2%)、韓国21,200枚(同66.3%) 輸出平均価格(令和5年5月):398円/枚(前年差△118円、前月差+19円) ○ 需 給 動 向 : 欧州・中国の経済悪化等により海外タンナーは豚原皮の仕入を抑制している傾向がある。 春先から少しずつ輸出価格は上向いているが、B級品(穴あき・破れ等)の荷動きが悪い。	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和3年12月1日</td><td>115</td><td>110</td></tr><tr><td>令和4年1月1日</td><td>145</td><td>140</td></tr><tr><td>令和4年3月1日</td><td>155</td><td>150</td></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr></table>			価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和3年12月1日	115	110	令和4年1月1日	145	140	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	
価格改定年月日	牛脂	豚脂																											
令和3年12月1日	115	110																											
令和4年1月1日	145	140																											
令和4年3月1日	155	150																											
令和4年4月1日	175	170																											
令和4年7月1日	195	190																											
令和5年1月1日	175	175																											
令和5年4月1日	165	175																											
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(6月渡し):牛脂165円/kg(前年差△10円、前月差±0円)、豚脂175円/kg(同+5円、同±0円) 牛脂は発生量に対して製品需要が少ないため荷余り感が続いており、価格は次月以降で値下がりする可能性が高い。 豚脂は食用加工油脂業界以外の引き合いも堅調だが、パーム油相場下落により牛脂同様の値下がりが想定される。 ○ マレーシア産パーム油相場(5月):149円/kg(前年差△97円、前月差△8円) 5月生産量は151.7万トン(前月比126.8%)、輸出量は107.9万トン(同99.2%)、月末在庫は168.7万トン(同112.6%)となった。 市場予想を上回る生産量や低調な輸出需要等により軟調な相場展開となっているが、今後は天候不順の懸念があるため、そのことが相場を下支えしている。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (6 月) : 144円/kg(前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (6 月) : 115円/kg(前月差+0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(6月):143円～146円/kgあたり(前月差±0円)																											